

## Japan-YWP「水×SDGs」ワーキンググループ（第6回）

Japan-YWP運営委員 平野実晴（立命館アジア太平洋大学）

### <開催概要>

日時：2019年11月16日（土曜日）11:30～17:00  
 会場：東京大学 本郷キャンパス 工学部14号館2階222号室  
 主催：Japan-YWP「水×SDGs」ワーキンググループ

### プログラム：

- ①これまでの活動の振り返り
- ②おためしワークショップ
- ③成果物のまとめ方

### <開催報告>

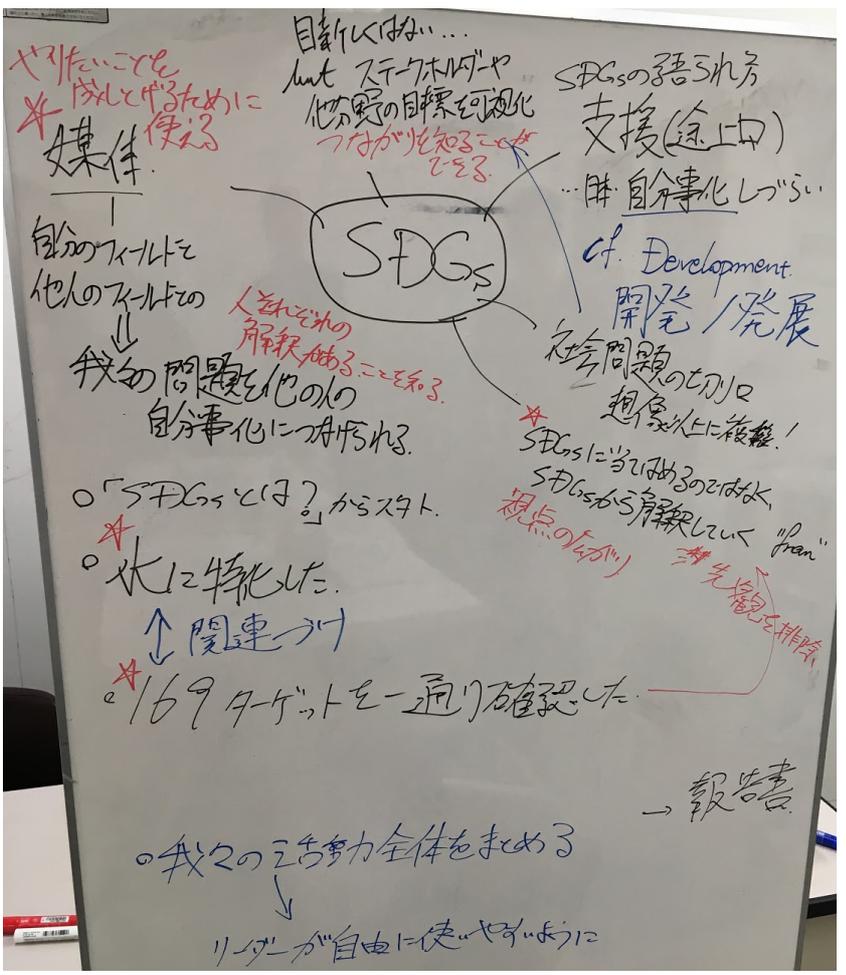
今回は、ワーキンググループのミーティングとして、①これまでの活動の振り返りと合わせ、②2020年1月25日に開催する「水×SDGs」ワークショップで行うアクティビティを試し、それを踏まえて、③こういった形で成果をまとめるか、意見交換を行いました。

### ①これまでの活動の振り返り

#### Q. 私たちにとって、SDGsとは？

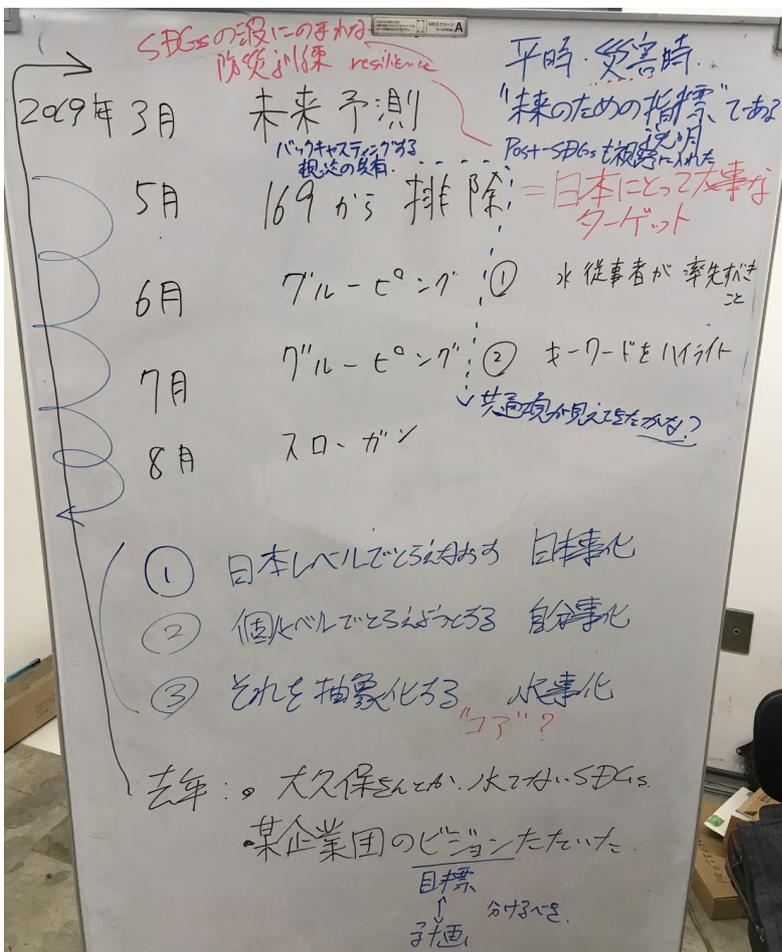
既にSDGsの基本を知り、議論を重ねてきた今だからこそ、私たちにとってSDGsにはどういった役割を期待するか、という点で、ディスカッションを行いました。多くの意見が出されましたが、大きく以下の4点に括ることができそうです。

1. 私たち若手が社会課題に向き合い、主体的に解決の方向性を考える場を提供する。
2. SDGsは、開発の対象であるだけでなく、日本が、そして自分たちが発展するために用いるものである。そのため、日本ごと化・自分ごと化する必要がある。
3. SDGsは、私たちが自分のおかれている社会問題を認識する上で、（他分野・他のステークホルダーといった）異なった視点から捉えることを可能にする切り口/レンズである。時に、ある問題について、異なった解釈があることも分かる。そのため、SDGsの用いることによって、先入観を排除したり、視点を広げたりすることが可能になる。
4. SDGsには、自分が所属しているフィールドと、他人が活動しているフィールドとを架橋する、媒体の作用が期待できる。SDGsを共通言語として用いることで、自分たちが抱えている問題を、他の人にも積極的に取り組んでもらえるように働きかけることができ、課題解決を成し遂げやすくなること



**Q. WGを通じて何をやってきたのか？**

ワーキンググループの活動に入る前から行ってきた「水×SDGs」を見返したところ、特に参加者していただいている皆さんの興味を引いたいくつかのポイントが見えてきました。



1. SDGsを介して、水ではない専門家と交流することができる（平野のいうところの「#SDGs（ハッシュタグSDGs）」の効果）。【特に去年の勉強会に外部から若手専門家を招待をした所が興味深かった。】

2. SDGsは未来の指標であると同時に、若手の我々としてはSDGsを批判的に検討し、post-SDGsにつながる議論にしていかなければならない。

【去年のキックオフイベントでの山村先生スピーチ】

3. ビジョンと計画を分ける意義。SDGsを用いることで、あるべき姿を思い描くビジョンを検討できるが、それと具体的な活動に落とし込む計画とは別である。計画としてビジョンを作ってしまうと、組織外の人には伝わらない。【去年の勉強会で、某事業体のビジョンを検討できたことでの気づき】

4. SDGsの169のターゲットを一通り読んだうえで絞り込み、その中で「途上国」と言った表現も読み替えた作業によって、SDGsを身近なものとして整理することができるようになった【WG：日本ごと化】

5. SDGsの絞り込み・読み替え作業を「アウトサイド・イン・アプローチ」によって行ったことで、個々の組織

に所属する自分としてではなく、水に関わる自分として幅広くとらえることができた。【WG：自分ごと化】

6. SDGsの絞り込み・読み替え作業では、水に特化しつつ、上下水道事業に関わりうるターゲットを幅広く取り込み、6つの観点から整理したことで、多面的な視点を提供できるようになった。また、水問題について、上下水道と他のセクターとの接点も見えてくる。【WG：水ごと化】

**事前アンケート回答結果**

**Q. 「水×SDGs」を振り返って、この活動の意義はどこにあったと思いますか？**

- 社会課題解決に若手が主体的に取り組める環境を提供した点。
- 専門という所に意識が集中しすぎなく、幅広い視野を知ることができたこと
- SDGsのターゲットを全部見て、私たちにとっての方向性も見えてきた。
- 既存の価値（上下水道の普及率や水質の基準値達成など）とは異なる視点で、これからの進むべき方向について議論できたこと。既存の価値では、目標達成後では現状維持以外の選択肢が生まれにくいのが、SDGsの視点を組みこむことで新たな価値や進むべき目標に気づけるということを体感できたこと。
- 全てのテーマ17を日本の上下水道分野と読み替えて徹底して協議したこと。
- SDGsの視点で水業界の将来を考えると水業界だけではできないこと（限界）も見えてきますので、水業界が「足りない部分を他業界から補わなくちゃね」というような柔軟な考えになれば、我々のような異業種も水業界に参入しやすくなりますね。

## ②おためしワークショップ

1月25日のWSに向けて、高田と平野がたたき台を練ったアクティビティを行いました。設計においては、当日のWSだけでなく事前アンケートでもいただいていたように様々な組織や場で行える活動であることを目指しています。アクティビティの目的は、WS参加者が我々が行った活動を追体験できること、SDGsの日本事化・自分事化・水事化を実践し、SDGsの活用することで気づきが得られるようにすることです。

「ジグソー」と呼ばれる協同学習の手法を応用しました。具体的には、次のようなワークです。

- 1) 参加者は、いくつかのテーブルに5ないし6名ずつ分かれる。各テーブルで、各参加者は、「水×SDGs」で分類してきた6つのグルーピングを印刷した紙を1枚ずつ受け取る。準備時間の後、同じテーブルの参加者に、自分の持っている一覧の内容を説明する。
- 2) 参加者は移動し、同じSDGsの一覧を持った別のテーブルの参加者と一緒になり、内容を吟味する。
- 3) 元のテーブルに戻り、再び、内容を説明しなおす。

この一連のワークを通じて、相手に伝えることを通して、自分の手元に提示されているSDGsターゲットの一覧を向き合い、どういった理屈によって束ねられているのか、考えてみる。そして、他の人が持っている異なったターゲット群と比較し、水にも多様な側面から課題の整理を行うことができることを感じてもらう、という狙いがあります。



アクティビティに挑戦する参加者

おためしでやってみた結果、総じて、アクティビティとしては成り立ちうるという意見で一致しました。もっとも、課題やワークが複雑なので説明を丁寧に行うなど準備項目も多く指摘がありました。これから、やり方を修正し、当日に向けて準備を重ねていきます。

1月25日は、ワーキンググループとしてイベントを行い、これまでの成果を還元していきますので、ぜひ皆様も積極的にご協力ください。

### 事前アンケート回答結果

#### Q. 私たちが作ったこの一覧は、こういった場面で使えると思いますか？

- 大学教育等で、現代の難解複雑な社会課題を取り上げる際の解決アプローチの一例として使える。
- 将来の目標設定等における会議、議論の場でのツール
- 業務のビジョンや計画を作ったり、進捗を確認したりする際。
- 水分野がどのようなところでSDGsの実現に貢献できるかを考える参考になる。また、その際にどのようなステークホルダーと協力や活動の補完ができるのかを考える上でも参考になる。
- 大学でも官公庁でも企業でも使えると思います。参考になる。

### ③ 成果物のまとめ方

ミーティングを踏まえ、どのような成果物をワーキンググループとしてまとめるか、いくつかのポイント（今後のタスクを含め）まとめています。成果物は、1月25日のWSでもらう改善点などフィードバックを踏まえて、最終的なものを年度中に仕上げる予定です。

- 1月25日のWSで使うことができ、かつ同様のアクティビティを自治体や企業などで行えるように、アクティビティの行い方をまとめる
- WGの成果であり、アクティビティでも用いるターゲット一覧については、いくつかの観点から最終の磨きをかける必要がある。
  - ターゲットの確認
    - 同じグループ内でのターゲットの順番
    - 不要・紛らわしいものがないか
    - 6つのグルーピングのうち、適当な場所に入っているか
  - 色付け
    - 色付きでハイライトされているキーワードが多すぎず、かつもれがないか
    - 「途上国」など、薄くすべき部分を特定する
  - 我々の考えを示す
    - 「着想のヒント」（=なぜこのターゲットを入れいているのかの説明）
    - 「スローガン」の例示と、なぜこのグルーピングにしているかの説明
- 「水×SDGs」イニシアティブ全体をまとめた報告書が必要。SDGsを日本ごと化・自分ごと化・水ごと化していく方法論として、提案できる。

#### <今後>

- ・1月25日イベントのリハーサルを行う必要があるか？要検討
- ・「水×SDGs」ターゲット一覧を事務局でブラシアップし、WGメンバーに回覧（年末ごろ）

☆ 2020年1月25日（土曜日）の午前中に、Japan-YWP10周年記念イベントに先立ち、ワークショップを開催！詳細は[ホームページ](#)・[Facebook](#)・[メーリングリスト](#)などで近日告知予定！

企画・運営にご協力いただける方は、平野までご連絡ください^^